

事務事業マネジメントシート(平成23年度実績と平成24年度計画)

平成24年 9月26日更新

事務事業名		閉じこもり予防事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	健康福祉部	課長名	可徳 精至
	施策	16	高齢者の自立と社会参加の促進			所属課	高齢者支援課	担当者名	渡辺 良輔
	基本事業	49	高齢者の介護予防の充実			所属班	包括支援センター班	(内線)	2152
予算科目	会計	款	項	目	事業連番	法令根拠	合志市閉じこもり予防事業実施要綱		
	介護	11	1	2	11487		成果優先度評価結果	⑤	
							コスト削減優先度評価結果	—	
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 23年度で終了 <input type="checkbox"/> 23年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)					

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	家に閉じこもりがちな概ね65歳以上の高齢者に対し、通所の方法により、日常動作訓練等のサービスを提供し、自立生活の助長、社会的孤立感の解消、心身機能の向上を図る。みどり館で生活指導、日常動作訓練、健康チェック、給食サービス等を行う。平成12年介護保険制度が始まり、介護認定非該当の高齢者がデイサービスを受けられなくなったことにより開始した。閉じこもりや社会的孤独感をもつ高齢者へと対象者を変えてきた。特定高齢者と思われる方も約半数程度は含まれており、国が定める通所型介護予防事業である運動・栄養・口腔の機能向上事業を新たに追加することにより、更なる介護予防効果を高めることができ、また、地域支援事業交付金の交付対象となることから、現在の生きがいデイサービス事業の一部を転換する。
【業務の流れ】	サービス利用申請書を提出されたあと、包括支援センターの社会福祉士に調査依頼し、調査後ケア会議にて利用の可否を決定する。決定内容を本人及び委託業者に通知する。事業者には基本情報も送付する。事業は社会福祉協議会に委託。委託料の支払い。
【主な予算費目】	委託料
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	利用者からは、生きがいデイサービスに行くことを楽しみにしている。また、新しく知り合いが増えたと喜ばれている。平成19年度から個人負担額を要支援1の負担額と同等にしたが、特に利用者からの問い合わせはなかった。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 23年度実績(23年度に行った主な活動)(DO)	24年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
健康チェック、日常動作訓練、趣味活動、給食サービス、生活指導サービス等	健康チェック、日常動作訓練、趣味活動、給食サービス、生活指導サービス等
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
→ ア: デイサービスの開催数	回 利用者の減少見込による委託料の減。
→ イ: デイサービスの延べ参加者数	人
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
家に閉じこもりがちな概ね65歳以上の高齢者	(単位) 人
	→ ア: 要介護認定を受けていない高齢者
	→ イ:
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
自立生活の助長、社会的孤立感の解消、心身機能の維持向上を図る。	(単位) 人
	→ ア: デイサービス参加者数
	→ イ:
*③成果指標設定の理由と24年度目標値設定の根拠	
事業に参加することで、週1回の外出の機会ができ、閉じこもりの予防となるため。	
総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	21年度実績(決算)	22年度実績(決算)	23年度目標(当初予算)	23年度実績(決算)	24年度目標(当初予算)	25年度予定	26年度見込	27年度見込	
① 活動指標	ア	回	431	430	430	155	430	430	430	430	
	イ	人	2,508	2,247	3,300	2,110	2,400	2,400	2,400	2,400	
② 対象指標	ア	人	8,554	8,953	8,800	9,165	8,800	8,800	8,800	8,800	
	イ										
③ 成果指標	ア	人	85	73	80	66	70	70	70	70	
	イ										
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円	2,069	1,855	2,084	1,742	1,988	1,987	1,987	1,987
		都道府県支出金	千円	1,035	928	1,042	871	994	994	994	994
		地方債	千円								
		その他	千円	4,139	3,710	4,167	3,424	3,975	3,974	3,974	3,974
		繰入金	千円								
	(A) 事業費計	一般財源	千円	1,034	928	1,028	931	978	980	980	980
		(A) 事業費計	千円	8,277	7,421	8,321	6,968	7,935	7,935	7,935	7,935
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(B) 人件費計	千円	891	1,442	922	1,130	922	922	922	922
トータルコスト(A)+(B)	千円	9,168	8,863	9,243	8,098	8,857	8,857	8,857	8,857		

事務事業名	閉じこもり予防事業	所属部	健康福祉部	所属課	高齢者支援課
-------	-----------	-----	-------	-----	--------

2 評価の部 (SEE)

*原則は23年度の後評価、ただし複数年度事業は23年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①23年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した デイサービスの開催数、参加者数について目標を達成した。	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】
	②24年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 現状維持のまま事業を実施していく	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 事業の内容を充実することによって、成果の向上余地はあると思われる。	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 他に類似事業がないため。	<input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 介護保険制度に準じて一部負担金を徴収しているため。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託できないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 利用の決定等以外は社会福祉協議会に事業を委託しており削減の余地はない。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ケア会議で決定の可否を審査しており、公平・公正である。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 委託事業であるため。	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

平成21年度よりみどり館1箇所で行うようになってから、介護保険サービスへの移行がスムーズになった。

4 今後の方向性(事務事業担当課案) (PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																						